

注3

大学番号：私166

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

公立諏訪東京理科大学 工学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立諏訪東京理科大学

平成30年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

＜情報応用工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

＜機械電気工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	30
2. 授業科目の概要	34
3. 施設・設備の整備状況、経費	39
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	40
5. 教員組織の状況	41
6. 留意事項等に対する履行状況等	53
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立諏訪東京理科大学

(2) 大学名

公立諏訪東京理科大学

(3) 大学の位置

〒391-0292

長野県茅野市豊平5000-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カラサワ ノリユキ) 唐澤 範行 (平成30年4月1日)		
学長	(カワムラ ヒロシ) 河村 洋 (平成30年4月1日)		
学部長	(マツエ ヒデアキ) 松江 英明 (平成30年4月1日)		
学科長等	(ヒロセ ヒロオ) 広瀬 啓雄 (平成30年4月1日)		情報応用工学科主任

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 情報応用工学科 学士(工学)	工学関係	4 年	150 人	- 年次 人	600 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.21倍	
志願者数	1278 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	1244 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	432 (-) [0]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	182 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.21									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	182 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次			[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次			[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
計			182 [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	0人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 情報応用工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学基礎科目	数学基礎	1前		2								兼3
	物理学基礎	1前		2								兼1
	物理学A	1前		2								兼2
	物理学C	1後	2									兼3
	物理学実験A	1前	3				1					兼4
	微分積分1	1前	2									兼3
	微分積分1演習	1前	1									兼3
	微分積分2	1後		2		1		1				兼1
	微分積分2演習	1後		1		1		1				兼1
	統計学A	1後		2		1						兼1
	統計学A演習	1後		1		1						兼1
	統計学B	2前		2								兼1
	線形代数	1後		2								兼4
	線形代数演習	1後	1									兼4
化学	1後		2								兼1	
微分方程式	2前		2								兼1	
ベクトル解析	2前		2								兼1	
複素関数	2後		2								兼1	
フーリエ解析	2後		2								兼1	
マネジメント科目	企業システムと経営管理	1~4前	2									兼1
	地域産業入門	1~4後		2								兼2
	経営組織	1~4後		2								兼1
	マーケティング	1~4前		2				1				兼1
	経営戦略と価値づくり経	1~4前		2								兼1
	コストと採算	1~4後		2								兼1
	企業の国際化戦略	1~4後		2								兼1
	ビジネスリーダーシップ	1~4後		2								兼1
	生産マネジメント	2~4後		2								兼1
	経営分析	2~4後		2								兼1
	国際貿易	2~4前		2								兼1
	地域に学ぶ経営	2~4後		2								兼4
	事業ライフサイクル講座	2~4後		2								兼4
知的財産マネジメント	3~4前		2								兼1	
語学科目	英語1	1前	1									兼6
	英語2	1後	1									兼5
	英語3	2前	1									兼3
	英語4	2後	1									兼4
	Communicative English 1	1~4前		1								兼2
	Communicative English 2	1~4後		1								兼1
	Communicative English 3	1~4前		1								兼1
	Communicative English 4	1~4後		1								兼1
	Communicative English 5	1~4前		1								兼1
	Communicative English 6	1~4後		1								兼1
	Communicative English 7	1~4前		1								兼1
	Communicative English 8	1~4後		1								兼1
	Global Communication 1	1~4前		1								兼1
	Global Communication 2	1~4後		1								兼1
海外語学体験	1~4前		2								兼1	
中国語1	1~4前		1								兼1	
中国語2	1~4後		1								兼1	
地域連携科目	地域学入門	1~4通		1								兼1
	文化と芸術A	1~4前		1								兼1
	文化と芸術B	1~4前		1								兼1
	自然環境と人間	1~4通		1					1			兼1
	地域情報化論	1~4前		2								兼2
地域連携課題演習	2後	1			2						兼2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学基礎科目	数学基礎	1前		2								兼3
	物理学基礎	1前		2								兼1
	物理学A	1前		2								兼1
	物理学C	1後	2									兼3
	物理学実験A	1前	3					1				兼4
	微分積分1	1前	2									兼3
	微分積分1演習	1前	1									兼3
	微分積分2	1後		2				1	1			兼1
	微分積分2演習	1後		1				1	1			兼1
	統計学A	1後		2				1				兼1
	統計学A演習	1後		1				1				兼1
	統計学B	2前		2								兼1
	線形代数	1後		2								兼3
	線形代数演習	1後	1									兼3
化学	1後		2								兼1	
微分方程式	2前		2								兼1	
ベクトル解析	2前		2								兼1	
複素関数	2後		2								兼1	
フーリエ解析	2後		2								兼1	
マネジメント科目	企業システムと経営管理	1前	2									兼1
	地域産業入門	1~4後		2								兼2
	経営組織	1~4後		2								兼1
	マーケティング	1~4後		2								兼1
	経営戦略と価値づくり経	1~4前		2								兼1
	コストと採算	1~4後		2								兼1
	企業の国際化戦略	2~4後		2								兼1
	ビジネスリーダーシップ	1~4後		2								兼1
	生産マネジメント	2~4後		2								兼1
	経営分析	2~4後		2								兼1
	国際貿易	2~4前		2								兼1
	地域に学ぶ経営	3~4後		2								兼4
	事業ライフサイクル講座	3~4後		2								兼4
知的財産マネジメント	3~4前		2								兼1	
語学科目	英語1	1前	1									兼5
	英語2	1後	1									兼5
	英語3	2前	1									兼3
	英語4	2後	1									兼4
	Communicative English 1	1~4前		1								兼4
	Communicative English 2	1~4後		1								兼1
	Communicative English 3	1~4前		1								兼1
	Communicative English 4	1~4後		1								兼1
	Communicative English 5	1~4前		1								兼2
	Communicative English 6	1~4後		1								兼1
	Communicative English 7	1~4前		1								兼1
	Communicative English 8	1~4後		1								兼2
	Global Communication 1	1~4前		1								兼1
	Global Communication 2	1~4後		1								兼1
海外語学体験	1~4前		2								兼1	
中国語1	1~4前		1								兼1	
中国語2	1~4後		1								兼1	
地域連携科目	地域学入門	1~4通		1								兼1
	文化と芸術A	1~4前		1								兼1
	文化と芸術B	1~4前		1								兼1
	自然環境と人間	1~4通		1					1			兼1
	地域情報化論	1~4前		2								兼2
地域連携課題演習	2後	1			2						兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	信号処理論	2後	2			1							
	画像・音響信号処理論	3前	2			1							
	コンピュータグラフィックス	3後	3			1							
	メディアインタフェース	3後	2			1							
	バーチャルリアリティ	3後	2					1					
	通信工学1	3前	2			1							
	通信工学2	3後	2			1							
	移動体通信ネットワーク	3後	2			1							
	電波システム工学	3後	2									兼1	
	電波法	4前	2									兼1	
	Webプログラミング及び演習	2後	3			1			1				
	社会情報システムデザイン論	3後	2			1							
	ヒューマンインタフェース設計	3前	2						1				
	モバイルデバイスプログラミング	3後	3			1							
	メディアデザイン論	2後	2			1							
	メディアシステムデザイン論及び	3	3			1							
メディアリテラシー	3前	2			1								
ゼミ研究1	3前	1			11	3	4						
ゼミ研究2	3後	1			11	3	4						
卒業研究	4通	6			11	3	4						
関連専門科目	電磁気学	2前	2										兼1
	電磁気学演習	2前	1										兼2
	数値解析法及び演習	2後	3										兼1
	制御工学1	3前	2										兼1
	制御工学2	3後	2										兼1
	ロボット工学	3前	2										兼1
	送配電工学	4前	2										兼1
	電気機器設計及び製図	4前	2										兼1
	施設管理電気法規	4前	2										兼1
	環境エネルギー工学	3前	2										兼1
	太陽光エネルギー	3後	2										兼1
	植物エネルギー生産学	3後	2										兼1
	高速流体力学	3前	2										兼1
	流体機械	3後	2										兼1
	航空力学と飛行の原理	3後	2										兼1
	宇宙エネルギー工学概論	3前	2										兼1
	自動車工学	3前	2										兼1
	移動体安全工学	3後	2										兼1
	EV用電源と電力制御	3後	2										兼1
	機械工学設計製図2	3後	2										兼1
	材料加工学	3後	2										兼1
	プラスチック材料	3前	2										兼1
	安全・熱利用工学	3後	2										兼2
	熱システム工学	3後	2										兼1
	パワーエレクトロニクス	3前	2										兼1
	電気機器工学	3後	2										兼1
計測工学	3後	2										兼1	
集積化回路	3後	2										兼1	
半導体素子工学	2後	2										兼1	
電気電子材料	3前	2										兼1	
半導体プロセス	3後	2										兼1	
IoTセンシングシステム	3後	2										兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	信号処理論	2後	2			1							
	画像・音響信号処理論	3前	2			1							
	コンピュータグラフィックス	3後	3			1							
	メディアインタフェース	3後	2			1							
	バーチャルリアリティ	3後	2					1					
	通信工学1	3前	2			1							
	通信工学2	3後	2			1							
	移動体通信ネットワーク	3後	2			1							
	電波システム工学	3後	2										兼1
	電波法	4前	2										兼1
	Webプログラミング及び演習	2後	3			1			1				
	社会情報システムデザイン論	3後	2			1							
	ヒューマンインタフェース設計	3前	2						1				
	モバイルデバイスプログラミング	3後	3			1							
	メディアデザイン論	2後	2			1							
	メディアシステムデザイン論及び	3	3			1							
メディアリテラシー	3前	2			1								
ゼミ研究1	3前	1			11	3	4						
ゼミ研究2	3後	1			11	3	4						
卒業研究	4通	6			11	3	4						
関連専門科目	電磁気学	2前	2										兼1
	電磁気学演習	2前	1										兼2
	数値解析法及び演習	2後	3										兼1
	制御工学1	3前	2										兼1
	制御工学2	3後	2										兼1
	ロボット工学	3前	2										兼1
	送配電工学	4前	2										兼1
	電気機器設計及び製図	4前	2										兼1
	施設管理電気法規	4前	2										兼1
	環境エネルギー工学	3前	2										兼1
	太陽光エネルギー	3後	2										兼1
	植物エネルギー生産学	3後	2										兼1
	高速流体力学	3前	2										兼1
	流体機械	3後	2										兼1
	航空力学と飛行の原理	3後	2										兼1
	宇宙エネルギー工学概論	3前	2										兼1
	自動車工学	3前	2										兼1
	移動体安全工学	3後	2										兼1
	EV用電源と電力制御	3後	2										兼1
	機械工学設計製図2	3後	2										兼1
	材料加工学	3後	2										兼1
	プラスチック材料	3前	2										兼1
	安全・熱利用工学	3後	2										兼2
	熱システム工学	3後	2										兼1
	パワーエレクトロニクス	3前	2										兼1
	電気機器工学	3後	2										兼1
計測工学	3後	2										兼1	
集積化回路	3後	2										兼1	
半導体素子工学	2後	2										兼1	
電気電子材料	3前	2										兼1	
半導体プロセス	3後	2										兼1	
IoTセンシングシステム	3後	2										兼1	
電子回路2	3後	2										兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教学上の理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 ・ 教学上の理由により、「微分積分2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。 ・ 教学上の理由により、「微分積分2演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。 ・ 教学上の理由により、「線形代数」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。 ・ 教学上の理由により、「線形代数演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。 ・ 教学上の理由により、「企業システムと経営管理」の配当年次を「1～4年」から「1年」に変更。 ・ 教学上の理由により、「経営組織」の開講学期を「後期」から「前期」に変更。 ・ 教学上の理由により、「マーケティング」の開講学期を「前期」から「後期」に変更。 ・ 教学上の理由により、「マーケティング」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任・兼任1」に変更。 ・ 教学上の理由により、「企業の国際化戦略」の配当年次を「1～4年」から「2～4年」に変更。 ・ 教学上の理由により、「地域に学ぶ経営」の配当年次を「2～4年」から「3～4年」に変更。 ・ 教学上の理由により、「事業ライフサイクル講座」の配当年次を「2～4年」から「3～4年」に変更。 ・ 教学上の理由により、「英語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。 ・ 教学上の理由により、「Communicative English 1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。 ・ 教学上の理由により、「Communicative English 5」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教学上の理由により、「Communicative English 8」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教学上の理由により、「自然環境と人間」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・ 教学上の理由により、「地域情報化論」の開講学期を「前期」から「前後期」に変更。 ・ 教学上の理由により、「初年次導入教育」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教3」、「兼任・兼任14」から「兼任・兼任9」に変更。 ・ 教学上の理由により、「科学する心A」の開講学期を「前期」から「後期」に変更。 ・ 教学上の理由により、「論理学」の開講学期を「後期」から「前後期」に変更。 ・ 教学上の理由により、「キャリア開発1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教学上の理由により、「キャリア開発2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教学上の理由により、「電気回路A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。 ・ 教学上の理由により、「自然言語処理論」の配当年次を「3年」から「2年」に変更。 ・ 教学上の理由により、「卒業研究」の単位数を「選択6単位」から「必修6単位」に変更。 ・ 教学上の理由により、関連専門科目に「電子回路2」を追加。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	152 科目	0 科目	176 科目	25 科目 [1]	152 科目 []	0 科目 []	177 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	無し					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 (学生駐車場含む)			
	校舎敷地	66,800.52 m ²	0 m ²	0 m ²	66,800.52 m ²				
	運動場用地	22,929.00 m ²	0 m ²	0 m ²	22,929.00 m ²				
	小 計	89,729.52 m ²	0 m ²	0 m ²	89,729.52 m ²				
	そ の 他	15,911.36 m ²	0 m ²	0 m ²	15,911.36 m ²				
	合 計	105,640.88 m ²	0 m ²	0 m ²	105,640.88 m ²				
(2) 校舎	専 用	23456.56 m ² (23456.56 m ²)	共 用 (0 m ²)	共用する他の 学校等の専用 (0 m ²)	計 23456.56 m ² (23456.56 m ²)	大学全体			
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教室等	28室 29室	16室 10室	21室 27室	3室 4室 (補助職員 5人) (補助職員 4人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学部 情報応用工学科			20 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	工学部 情報応用工学科	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	648 654	0		
		87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	(648) (654)	0		
	計	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	648 654	0		
		87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	(648) (654)	0		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
	1,157.24 m ²		167席		150,000冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,620.93 m ²		テニスコート3面 トレーニングルーム83.56 m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	7,250千円	7,250千円		7,250千円
	共同研究費等	0千円	12,500千円	設備購入費	5,725千円	5,725千円	5,725千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		818千円	536千円	536千円	536千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	公立諏訪東京理科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<u>工学部</u>									
情報応用工学科	4	150	0	150	学士(工学)	1.21	平成30年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	
機械電気工学科	4	150	0	150	学士(工学)	1.06	平成30年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成26年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成26年度	同上	平成30年度より学生募集停止
コンピュータメディア工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成26年度	同上	平成30年度より学生募集停止
<u>経営情報学部</u>									
経営情報学科	4	-	-	-	学士(経営情報学)	-	平成14年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	平成30年度より学生募集停止
<u>システム工学部</u>									
電子システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	平成26年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	同上	平成26年度より学生募集停止
大学の名称	公立諏訪東京理科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<u>工学・マネジメント研究科</u>									
工学・マネジメント専攻 (修士課程)	2	15	0	30	修士(工学)、修士(経営学)又は修士(学術)	0.7	平成18年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	
(博士後期課程)	3	2	0	6	博士(工学)又は博士(学術)	0.5	平成24年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 情報応用工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【平成31年度】		【平成32年度】		【平成33年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	市川 純章 (48) <平成30年4月> 作るシステム 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B インターンシップ 人工知能 デジタル機械工学 マイクロコンピュータ及び演習 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 地域連携課題演習	市川 純章 (49) <平成30年4月> 作るシステム 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B インターンシップ 人工知能 デジタル機械工学 マイクロコンピュータ及び演習 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 地域連携課題演習						
専	教授	奥原 正夫 (61) <平成30年4月> 統計学A 統計学A演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ ビッグデータによる品質管理論 社会応用統計学及び演習 情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	奥原 正夫 (62) <平成30年4月> 統計学A 統計学A演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ ビッグデータによる品質管理論 社会応用統計学及び演習 情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育						
専	教授	篠原 菊紀 (57) <平成30年4月> 健康教育1 健康教育2 健康教育3 健康教育4 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B 脳システム論 人システム論 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	篠原 菊紀 (58) <平成30年4月> 健康教育1 健康教育2 健康教育3 健康教育4 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B 脳システム論 人システム論 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 自然環境と人間						
専	教授	清水 俊治 (50) <平成30年4月> 電子回路 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B デジタル制御理論 医用生体工学 電気電子計測 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	清水 俊治 (51) <平成30年4月> 電子回路 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B デジタル制御理論 医用生体工学 電気電子計測 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 キャリア開発1 キャリア開発2						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	教授	布 房夫 (48) <平成30年4月> サーバシステムプログラミング及び演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 社会情報システム概論 社会情報システムデザイン論 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	平田 幸広 (53) <平成30年4月> 電気回路A 論理回路1 コンピュータグラフィックス及びシミュレーション 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B 海外インターンシップ C++プログラミング ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	広瀬 啓雄 (53) <平成30年4月> データベース論及び演習 Webプログラミング及び演習 コンピュータリテラシー演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D 海外インターンシップ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	松江 英明 (62) <平成30年4月> 高周波回路 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B 通信工学1 通信工学2 移動体通信ネットワーク ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	水野 秀之 (53) <平成30年4月> 論理回路1 論理回路2 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B 機械学習 メディアインタフェース ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	教授	布 房夫 (49) <平成30年4月> サーバシステムプログラミング及び演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 社会情報システム概論 社会情報システムデザイン論 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 キャリア開発1 キャリア開発2
専	教授	平田 幸広 (54) <平成30年4月> 電気回路A 論理回路1 コンピュータグラフィックス及びシミュレーション 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B 海外インターンシップ C++プログラミング ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	広瀬 啓雄 (54) <平成30年4月> データベース論及び演習 Webプログラミング及び演習 コンピュータリテラシー演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D 海外インターンシップ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	松江 英明 (63) <平成30年4月> 高周波回路 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B 通信工学1 通信工学2 移動体通信ネットワーク ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育
専	教授	水野 秀之 (54) <平成30年4月> 論理回路1 論理回路2 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B 機械学習 メディアインタフェース ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	三代沢 正 (61) <平成30年4月>	専	教授	三代沢 正 (62) <平成30年4月>	専	教授	三代沢 正 (61) <平成30年4月>	専	教授	三代沢 正 (61) <平成30年4月>
		メディアデザイン論 メディアシステムデザイン論及び演習 メディアリテラシー 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			メディアデザイン論 メディアシステムデザイン論及び演習 メディアリテラシー 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			メディアデザイン論 メディアシステムデザイン論及び演習 メディアリテラシー 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			
専	教授	山田 哲靖 (52) <平成30年4月>	専	教授	山田 哲靖 (53) <平成30年4月>	専	教授	山田 哲靖 (52) <平成30年4月>	専	教授	山田 哲靖 (52) <平成30年4月>
		OS&コンピュータアーキテクチャ論 Javaプログラミング応用及び演習 モバイルデバイスプログラミング及び演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			OS&コンピュータアーキテクチャ論 Javaプログラミング応用及び演習 モバイルデバイスプログラミング及び演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			OS&コンピュータアーキテクチャ論 Javaプログラミング応用及び演習 モバイルデバイスプログラミング及び演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			
専	准教授	杉田 誠 (49) <平成30年4月>	専	准教授	杉田 誠 (50) <平成30年4月>	専	准教授	杉田 誠 (49) <平成30年4月>	専	准教授	杉田 誠 (49) <平成30年4月>
		微分積分2演習 微分積分2演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B Cプログラミング応用及び演習 情報セキュリティ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			微分積分2演習 微分積分2演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B Cプログラミング応用及び演習 情報セキュリティ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			微分積分2演習 微分積分2演習 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B Cプログラミング応用及び演習 情報セキュリティ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			
専	准教授	田邊 造 (41) <平成30年4月>	専	准教授	田邊 造 (42) <平成30年4月>	専	准教授	田邊 造 (41) <平成30年4月>	専	准教授	田邊 造 (41) <平成30年4月>
		電気回路B 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B Cプログラミング基礎及び演習 信号処理論 画像・音響信号処理論 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			電気回路B 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B Cプログラミング基礎及び演習 信号処理論 画像・音響信号処理論 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 電気回路A			電気回路B 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B Cプログラミング基礎及び演習 信号処理論 画像・音響信号処理論 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			
専	准教授	土屋 健 (38) <平成30年4月>	専	准教授	土屋 健 (39) <平成30年4月>	専	准教授	土屋 健 (38) <平成30年4月>	専	准教授	土屋 健 (38) <平成30年4月>
		情報科学 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ Webデザイン論及び演習 インターネット論及び演習 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			情報科学 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ Webデザイン論及び演習 インターネット論及び演習 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			情報科学 情報応用工学概論1※ 情報応用工学概論2※ Webデザイン論及び演習 インターネット論及び演習 情報応用工学実験2C 情報応用工学実験2D ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育			

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼担	准教授	青野 智子 (46) <平成30年4月> 英語1 英語2 英語3 英語4 Communicative English7 海外語学体験 初年次導入教育					
兼担	准教授	奈良 裕美子 (45) <平成30年4月> 英語1 英語2 英語3 英語4 初年次導入教育	兼担 准教授	奈良 裕美子 (46) <平成30年4月> 英語1 英語2 英語3 英語4 初年次導入教育 Communicative English1 Communicative English8			
兼担	講師	有賀 メアリー (60) <平成30年4月> 英語1 英語2 英語4 Communicative English1 Communicative English3 Communicative English4 Global Communication1 Global Communication2 初年次導入教育	兼担 講師	有賀 メアリー (61) <平成30年4月> 英語1 英語2 英語4 Communicative English3 Communicative English4 Global Communication1 Global Communication2 初年次導入教育			
兼担	教授	五味 嗣夫 (66) <平成30年4月> 企業システムと経営管理 地域産業入門 経営戦略と価値づくり経営 生産マネジメント 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 グローバル社会と文化 初年次導入教育	兼担 教授	五味 嗣夫 (67) <平成30年4月> 企業システムと経営管理 地域産業入門 経営戦略と価値づくり経営 生産マネジメント 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 グローバル社会と文化 マーケティング			
兼担	教授	韓 暁宏 (48) <平成31年4月> 企業システムと経営管理 企業の国際化戦略 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 地域情報化論 国際貿易 初年次導入教育	兼担 教授	韓 暁宏 (49) <平成31年4月> 企業システムと経営管理 企業の国際化戦略 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 国際貿易 初年次導入教育			
兼任	講師	韓 暁宏 (48) <平成30年4月> 国際貿易 企業の国際化戦略	兼任 講師	韓 暁宏 (49) <平成30年4月> 国際貿易 企業の国際化戦略			
兼担	講師	山縣 宏寿 (38) <平成30年4月> 経営組織 ビジネスリーダーシップ 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 初年次導入教育	兼担 講師	山縣 宏寿 (39) <平成30年4月> 経営組織 ビジネスリーダーシップ 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 初年次導入教育			
兼担	講師	鳥居 陽介 (38) <平成30年4月> 地域情報化論 コストと採算 経営分析 地域に学ぶ経営 事業ライフサイクル講座 初年次導入教育					
兼担	助教	倉田 紀子 (42) <平成30年4月> 地域産業入門 地域情報化論 オフィス入門	兼担 助教	倉田 紀子 (43) <平成30年4月> 地域産業入門 地域情報化論 オフィス入門			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	白井 喜郎 (65) <平成30年4月>	兼任	講師	白井 喜郎 (66) <平成30年4月>									
		電気回路A演習 電子回路演習 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B			電気回路A演習 電子回路演習 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B									
兼任	講師	荒木 恒彦 (70) <平成30年4月>	兼任	講師	荒木 恒彦 (71) <平成30年4月>									
		電気回路A演習 電気回路B演習 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B			電気回路A演習 電気回路B演習 情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B									
兼任	講師	小松 稔 (31) <平成32年4月>	兼任	講師	小松 稔 (32) <平成32年4月>									
		情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B			情報応用工学実験2A 情報応用工学実験2B									
兼任	講師	石井 美久 (58) <平成30年4月>	兼任	講師	石井 美久 (59) <平成30年4月>									
		情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B			情報応用工学実験1A 情報応用工学実験1B									
			兼任	講師	山岸 尚志 (64) <平成30年4月>									
					数学基礎 微分積分1 微分積分1演習 線形代数 線形代数演習									
			兼任	講師	渡邊 綾 (42) <平成30年4月>									
					英語1 英語2									
			兼任	講師	越川 マロリー (41) <平成30年4月>									
					Communicative English1 Communicative English5									
			兼任	講師	牛山 浩一 (51) <平成30年4月>									
					コストと採算									
			兼任	講師	兼村 智也 (55) <平成30年4月>									
					事業ライフサイクル講座									
			兼任	講師	吉川 誠 (67) <平成30年4月>									
					電波法									
			兼任	講師	村上 好成 (66) <平成30年4月>									
					化学									

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

--

【平成28年度】

--

【平成29年度】

--

【平成30年度】

・青野智子准教授について、後任を専任教員及び非常勤講師が授業を担当することとなったため、学生への指導体制に影響はありません。 ・鳥居陽介講師について、後任を専任教員及び非常勤講師が授業を担当することとなったため、学生への指導体制に影響はありません。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
11	3	4	3	21	11	3	4	3	21	11	3	4	3	21
(11)	(3)	(4)	(3)	(21)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、**

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{21}{21} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	特になし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 情報応用工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・教育研究審議会
- ・ファカルティ・ディベロップメント実施委員会
- ・教学IR委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

公立諏訪東京理科大学において、今後以下の組織を中心に本学のFD活動等を行う。

【教育研究審議会】
委員は、学長、副学長、学部長、その他教育研究上の重要な組織の長、法人の役員又は職員以外の者で大学の教育研究に関し広くかつ高い識見を有するもの等で構成し、大学の教育研究に関する重要事項を審議するため、教育研究審議機関として、教育研究審議会を設置している。

【ファカルティ・ディベロップメント実施委員会】
委員は研究科長、学部長、共通・マネジメント教育センター長、学科主任、研究科幹事、学科教務幹事及び共通・マネジメント教育センター教務幹事で構成し、本学FD活動の実施、教育改善に向けての点検・評価活動を行う。

【教学IR委員会】
委員は情報関係を専門とする教員で構成され、ファカルティ・ディベロップメント実施委員会と連携して、教育改善に必要なデータの収集、分析のための審議等を行う。

c 委員会の審議事項等

【教育研究審議会】
○公立大学法人公立諏訪東京理科大学定款第25条より一部抜粋
・学則（大学の教育研究に関する部分に限る。）その他の教育研究に係る重要な規程の制定及び改廃に関する事項
・教育課程の編成に係る方針に関する事項
・学生の入学、卒業又は教育課程の修了その他学生の在籍に係る方針及び学位の授与に係る方針に関する事項 等

【ファカルティ・ディベロップメント実施委員会】
○公立諏訪東京理科大学教育内容等の改善のための研修実施規程第5条より一部抜粋
・教育課程の点検、評価に関すること
・授業内容及び教育方法の点検、評価に関すること
・学修成果の把握方法及び基準の点検、評価に関すること
・教育及び学生指導に関する研修会等に関すること 等

【教学IR委員会】
○公立諏訪東京理科大学教学IR委員会規程第3条より抜粋
・教育改善に必要なデータの収集・整理、並びに分析に関すること
・データの分析報告書に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- (1) シラバスの点検
- (2) 授業アンケートの実施(前期・後期各1回全教員対象(非常勤講師含む)に授業アンケートを実施)
- (3) 授業アンケート結果に基づくフィードバック
- (4) 高評価授業顕彰
- (5) 新入生アンケート及び卒業時アンケート

b 実施方法

- (1) シラバスの点検…シラバスチェックシートにより自己点検を行い、他の教員が点検を行ことで相互チェックする。
- (2) 授業アンケート…前期・後期各1回全教員対象(非常勤講師含む)に実施。
- (3) 授業アンケート結果に基づくフィードバック…授業アンケート結果に教員がコメントを付して学生にフィードバックする。
- (4) 高評価授業顕彰…授業アンケート結果をもとに高い評価を受けた教員を顕彰。
- (5) 新入生アンケート及び卒業時アンケート…入学時及び卒業時において、調査を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) シラバスの点検・・・平成30年度分について全教員分について平成30年2月～3月に実施。全教員対象。
- (2) 授業アンケートの実施・・・前期・後期各1回全教員対象(非常勤講師含む)に授業アンケートを実施する。全教員対象。
- (3) 授業アンケート結果に基づくフィードバック・・・授業アンケート終了後に年2回実施する。全教員対象。
- (4) 高評価授業顕彰・・・授業アンケート終了後に年2回実施する。
- (5) 新入生アンケート及び卒業時アンケート・・・新入生について4月の初旬のガイダンス中、卒業時は1月～3月頃に実施する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

以下のとおり今後改善活動を行う。

- ・授業アンケート結果から高い評価を受けた教員を顕彰する制度により教員のFDに対する意識を高める。
- ・新入生アンケート及び卒業時アンケートは、本学教育の質保証のための学生調査であり、学生のような情報を収集して数値化・可視化し教育課程や学修支援のPDCAサイクルを通じた点検・評価・改善を行う。ディプロマポリシーの下、教育課程を通じて学生に求められる能力がいかにより育成されたかを検証する。調査データの整理、分析はIR委員会と連携して実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年 前期後半、後期後半頃に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケートの分析結果をホームページで公表予定
- ・アンケートの結果を個々の担当教員へフィードバックするとともに、FD研修会の研修材料として情報共有する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

公立諏訪東京理科大学は、工学並びにそれらの応用を教育研究するとともに、工学と経営学の融合教育を行い、人間性及び創造性豊かで主体性の確立した人材を育成し、地域の知の拠点として文化の進展と産業の興隆に寄与することにより、地域と我が国の将来の発展に貢献することを目的とする。工学部情報応用工学科では、専門分野を、知能・情報・通信コースと社会情報システムコースの複合分野として、「人工知能分野」「医用・健康・センシング分野」「ビッグデータ分野」「インターネット分野」「画像・音響・情報分野」「画像・音響・情報分野」「通信・ネットワーク分野」「ソフトウェアデザイン分野」「メディア表現技術分野」を設け、いずれかもしくは複数の分野の専門知識を習得し、地域・社会での諸問題を題材としたソリューションの提案や情報システム構築に取り組むことで、課題発見、問題分析、情報システムによる問題解決能力を養うことを目的としている。今年度は公立諏訪東京理科大学の開学初年度であり、これら目的を達成するために教育活動等を着実に推進していく所存である。

平成30年度は入学試験において、定員150名に対して1278名の志願者があり、アドミッションポリシーをもとに適切に選抜を行い、一定の学力を持つ182名の入学者を確保することができた。これは、前身である諏訪東京理科大学における教育研究成果や人材輩出実績に加えて、公立化により一層地域への貢献を図りたいとする本学の方針が広く理解された結果であると考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年7月頃 情報部分のみ公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・本学前身の諏訪東京理科大学において、平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）より評価を受け、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定されたため、次回は平成36年度に認証評価受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立諏訪東京理科大学

(2) 大学名

公立諏訪東京理科大学

(3) 大学の位置

〒391-0292
長野県茅野市豊平5000-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カラサワ ノリユキ) 唐澤 範行 (平成30年4月1日)		
学長	(カワムラ ヒロシ) 河村 洋 (平成30年4月1日)		
学部長	(マツエ ヒデアキ) 松江 英明 (平成30年4月1日)		
学科長等	(タケマス テルイエ) 竹増 光家 (平成30年4月1日)		機械電気工学科主任

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械電気工学科 学士(工学)	工学関係	4年	150人	- 年次人	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150人 (-) [若干名]	-人	人	人	人	人	人	人	1.06倍	
志願者数	1092 (-) [2]	-	()	()	()	()	()	()		
受験者数	1067 (-) [1]	-	()	()	()	()	()	()		
合格者数	400 (-) [0]	-	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	160 (-) [-]	-	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	160 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			160 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合計	0人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 機械電気工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
工学基礎科目	数学基礎	1前	2								兼3
	物理学基礎	1前	2								兼1
	物理学A	1前	2					1			兼3
	物理学B	1後	2			1					兼2
	物理学実験B	1後	2			4	1		2		兼1
	微分積分1	1前	2								兼3
	微分積分1演習	1前	1								兼3
	微分積分2	1後	2								兼4
	微分積分2演習	1後	1								兼4
	統計学B	2前	2								兼1
	線形代数	1後	2								兼4
	線形代数演習	1後	1								兼4
	化学	1前	2			1					兼2
	微分方程式	2前	2								兼1
	ベクトル解析	2前	2								兼1
	複素関数	2後	2								兼1
	フーリエ解析	2後	2								兼1
マネジメント科目	企業システムと経営管理	1~4前	2								兼1
	地域産業入門	1~4後	2								兼2
	経営組織	1~4後	2								兼1
	マーケティング	1~4前	2								兼1
	経営戦略と価値づくり経営	1~4前	2								兼1
	コストと採算	1~4後	2								兼1
	企業の国際化戦略	1~4後	2								兼1
	ビジネスリーダーシップ	1~4後	2								兼1
	生産マネジメント	2~4後	2								兼1
	経営分析	2~4後	2								兼1
	国際貿易	2~4前	2								兼1
	地域に学ぶ経営	2~4後	2								兼4
	事業ライフサイクル講座	2~4後	2								兼4
知的財産マネジメント	3~4前	2								兼1	
語学科目	英語1	1前	1								兼6
	英語2	1後	1								兼6
	英語3	2前	1								兼4
	英語4	2後	1								兼4
	Communicative English 1	1~4前	1								兼2
	Communicative English 2	1~4後	1								兼1
	Communicative English 3	1~4前	1								兼1
	Communicative English 4	1~4後	1								兼1
	Communicative English 5	1~4前	1								兼1
	Communicative English 6	1~4後	1								兼1
	Communicative English 7	1~4前	1								兼1
	Communicative English 8	1~4後	1								兼1
	Global Communication 1	1~4前	1								兼1
	Global Communication 2	1~4後	1								兼1
	海外語学体験	1~4前	2								兼1
中国語1	1~4前	1								兼1	
中国語2	1~4後	1								兼1	
地域連携科目	地域学入門	1~4通	1								兼1
	文化と芸術A	1~4前	1								兼1
	文化と芸術B	1~4前	1								兼1
	自然環境と人間	1~4通	1								兼1
	地域情報化論	1~4前	2								兼2
	地域連携課題演習	2後	1			1	1				兼2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
工学基礎科目	数学基礎	1前	2								兼3
	物理学基礎	1前	2								兼2
	物理学A	1前	2							1	兼3
	物理学B	1後	2				1				兼2
	物理学実験B	1後	2			4	2		2		兼1
	微分積分1	1前	2								兼4
	微分積分1演習	1前	1								兼4
	微分積分2	1後	2								兼3
	微分積分2演習	1後	1								兼3
	統計学B	2前	2								兼1
	線形代数	1後	2								兼3
	線形代数演習	1後	1								兼3
	化学	1前	2			1					兼1
	微分方程式	2前	2								兼1
	ベクトル解析	2前	2								兼1
	複素関数	2後	2								兼1
	フーリエ解析	2後	2								兼1
マネジメント科目	企業システムと経営管理	1前	2								兼1
	地域産業入門	1~4後	2								兼2
	経営組織	1~4後	2								兼1
	マーケティング	1~4前	2								兼1
	経営戦略と価値づくり経営	1~4前	2								兼1
	コストと採算	1~4後	2								兼1
	企業の国際化戦略	2~4後	2								兼1
	ビジネスリーダーシップ	1~4後	2								兼1
	生産マネジメント	2~4後	2								兼1
	経営分析	2~4後	2								兼1
	国際貿易	2~4前	2								兼1
	地域に学ぶ経営	3~4後	2								兼4
	事業ライフサイクル講座	3~4後	2								兼4
知的財産マネジメント	3~4前	2								兼1	
語学科目	英語1	1前	1								兼4
	英語2	1後	1								兼4
	英語3	2前	1								兼4
	英語4	2後	1								兼4
	Communicative English 1	1~4前	1								兼4
	Communicative English 2	1~4後	1								兼1
	Communicative English 3	1~4前	1								兼1
	Communicative English 4	1~4後	1								兼1
	Communicative English 5	1~4前	1								兼2
	Communicative English 6	1~4後	1								兼1
	Communicative English 7	1~4前	1								兼1
	Communicative English 8	1~4後	1								兼2
	Global Communication 1	1~4前	1								兼1
	Global Communication 2	1~4後	1								兼1
	海外語学体験	1~4前	2								兼1
中国語1	1~4前	1								兼1	
中国語2	1~4後	1								兼1	
地域連携科目	地域学入門	1~4通	1								兼1
	文化と芸術A	1~4前	1								兼1
	文化と芸術B	1~4前	1								兼1
	自然環境と人間	1~4通	1								兼2
	地域情報化論	1~4前	2								兼2
	地域連携課題演習	2後	1			1	1				兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	初年次導入教育	1前	1			11	5					兼14
	心理学	1~4前		2								兼1
	日本の近代文学と心	1~4後		2								兼1
	ボランティア論	1~4後		2								兼1
	グローバル社会と文化	1~4前		2								兼3
	科学する心A	1~4後		1								兼1
	科学する心B	1~4後		1								兼1
	論理学	1~4後		2								兼1
	情報科学入門	1~4前		2								兼1
	キャリア開発1	1~4前		2		1						兼1
	キャリア開発2	1~4後		2		1						兼1
	基本情報処理1	1~4前		2								兼1
	基本情報処理2	1~4後		2								兼1
	健康教育1	1~4前		1								兼3
	健康教育2	1~4前		1								兼3
	健康教育3	1~4前		1								兼3
	健康教育4	1~4前		1								兼3
オフィス入門	1~4前		2								兼2	
法学入門	1~4後		2								兼1	
日本語1(留学生)	1~4前		1								兼1	
日本語2(留学生)	1~4後		1								兼1	
基礎専門科目	機械電気工学通論	1前	2			9	5					
	機械工学基礎1	1後	2			1	1					
	機械工学基礎2	2前	2			1	1					
	電気電子工学基礎1	1後	2			1	1					
	電気電子工学基礎2	2前	2			2						
	機械製図	2前	2	2					1			兼1
	プログラミング1	1後	2			1	1					
専門科目	機械力学	2後		2								
	機械力学演習	2後		1			1					
	機械設計	2後		2								兼2
	機械製作法	3前		2		1						
	機械工学設計製図1	3前		2		1						
	機械振動学	3前		2			1					
	機械材料	2後		2			1					
	材料力学	2後		2		1						
	材料力学演習	2後		1		1						
	弾性力学	3前		2		1						
	熱・流体力学	2後		2			1					
	工業熱力学	3前		2			1					
	電気回路1	2前		2		1						
	電気回路1演習	2前		1			1			1		
	電磁気学	2前		2		1						
	電磁気学演習	2前		1						1		兼1
	電気回路2	2後		2		1						
	物理化学	2前		2		1						
	機械電気工学実験	2前	2			2	2		2			兼6
	プログラミング2	2前		2		1						
	数値解析法及び演習	2後		3								兼1
	機械工学実験	3前		2		3	2		1			
	電気電子工学実験1	2後		2		1			1			兼2
	電気電子工学実験2	3前		3		4	1					兼1
	電気電子工学実験3	3後		3		4	1					兼2
	技術英語	3後		2		4	3					
	工学特別講義	3後		1		2						
インターンシップ	3~4前		1		2							
海外インターンシップ	1~3前		2		2						兼2	
電子回路1	2後		2		1							
電子回路1演習	2後		1		1				1			
電子回路2	3前		2		1							
論理回路	2後		2		1							
制御工学1	3前		2		1							
制御工学2	3後		2		1							
ロボット工学	3前		2		1							
送配電工学	4前		2		1							
電気機器設計及び製図	4前		2		1							
施設管理電気法規	4前		2								兼1	
環境エネルギー工学	3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	初年次導入教育	1前	1			11	5				4	兼9
	心理学	1~4前		2								兼1
	日本の近代文学と心	1~4後		2								兼1
	ボランティア論	1~4後		2								兼1
	グローバル社会と文化	1~4前		2								兼3
	科学する心A	1~4後		1								兼1
	科学する心B	1~4後		1								兼1
	論理学	1~4後		2								兼1
	情報科学入門	1~4前		2								兼1
	キャリア開発1	1~4前		2			2					兼2
	キャリア開発2	1~4後		2			2					兼2
	基本情報処理1	1~4前		2								兼1
	基本情報処理2	1~4後		2								兼1
	健康教育1	1~4前		1								兼3
	健康教育2	1~4前		1								兼3
	健康教育3	1~4前		1								兼3
	健康教育4	1~4前		1								兼3
オフィス入門	1~4前		2								兼2	
法学入門	1~4後		2								兼1	
日本語1(留学生)	1~4前		1								兼1	
日本語2(留学生)	1~4後		1								兼1	
基礎専門科目	機械電気工学通論	1前	2			9	5					
	機械工学基礎1	1後	2			1	1					
	機械工学基礎2	2前	2			1	1					
	電気電子工学基礎1	1後	2			1	1					
	電気電子工学基礎2	2前	2			2						
	機械製図	2前	2	2					1			兼1
	プログラミング1	1後	2			1	1					
専門科目	機械力学	2後		2								
	機械力学演習	2後		1			1					
	機械設計	2後		2								兼2
	機械製作法	3前		2		1						
	機械工学設計製図1	3前		2		1						
	機械振動学	3前		2			1					
	機械材料	2後		2			1					
	材料力学	2後		2		1						
	材料力学演習	2後		1		1						
	弾性力学	3前		2		1						
	熱・流体力学	2後		2			1					
	工業熱力学	3前		2			1					
	電気回路1	2前		2		1						
	電気回路1演習	2前		1			1			1		
	電磁気学	2前		2		1						
	電磁気学演習	2前		1						1		兼1
	電気回路2	2後		2		1						
	物理化学	2前		2		1						
	機械電気工学実験	2前	2			2	2		2			兼6
	プログラミング2	2前		2		1						
	数値解析法及び演習	2後		3								兼1
	機械工学実験	3前		2		3	2		1			
	電気電子工学実験1	2後		2		1			1			兼2
	電気電子工学実験2	3前		3		4	1					兼1
	電気電子工学実験3	3後		3		4	1					兼2
	技術英語	3後		2		4	3					
	工学特別講義	3後		1		2						
インターンシップ	3~4前		1		2							
海外インターンシップ	1~3前		2		2						兼2	
電子回路1	2後		2		1							
電子回路1演習	2後		1		1				1			
電子回路2	3前		2		1							
論理回路	2後		2		1							
制御工学1	3前		2		1							
制御工学2	3後		2		1							
ロボット工学	3前		2		1							
送配電工学	4前		2		1							
電気機器設計及び製図	4前		2		1							
施設管理電気法規	4前		2								兼1	
環境エネルギー工学	3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	太陽光エネルギー	3後	2			1							
	植物エネルギー生産学	3後	2			1							
	高速流体力学	3前	2			1							
	流体機械	3後	2			1							
	航空力学と飛行の原理	3後	2			1							
	宇宙エネルギー工学概論	3前	2									兼1	
	自動車工学	3前	2									兼1	
	移動体安全工学	3後	2										
	EV用電源と電力制御	3後	2										
	機械工学設計製図2	3後	2			1							
	材料加工学	3後	2			1							
	プラスチック材料	3前	2				1						
	安全・熱利用工学	3後	2			1	1						
	熱システム工学	3後	2									兼1	
	パワーエレクトロニクス	3前	2									兼1	
	電気機器工学	3後	2			1							
	計測工学	3後	2			1							
	集積化回路	3後	2									兼1	
	半導体素子工学	2後	2			1							
	電気電子材料	3前	2				1						
半導体プロセス	3後	2				1							
IoTセンシングシステム	3後	2			1								
ゼミ研究1	3前	1			11	5							
ゼミ研究2	3後	1			11	5							
卒業研究	4通	6			11	5							
関連専門科目	機械学習	3前	2									兼1	
	人工知能	3後	2									兼1	
	脳システム論	3前	2									兼1	
	人システム論	3後	2									兼1	
	マイクロコンピュータ	3後	3									兼1	
	デジタル制御理論	3前	2									兼1	
	医用生体工学	3前	2									兼1	
	電気電子計測	3後	2									兼1	
	ビッグデータによる品	3後	2									兼1	
	社会応用統計学及び	3前	3									兼1	
	自然言語処理理論	3後	2									兼1	
	データベース論及び演	3前	3									兼1	
	Webデザイン論及び演	3後	3									兼1	
	サーバシステムプロク	3前	3									兼1	
	インターネット論及び演	2後	3									兼1	
	情報セキュリティ	2後	2									兼1	
	信号処理論	2後	2									兼1	
	画像・音響信号処理論	3前	2									兼1	
	コンピュータグラフィッ	3後	3									兼1	
	メディアインタフェース	3後	2									兼1	
バーチャルリアリティ	3後	2									兼1		
通信工学1	3前	2									兼1		
通信工学2	3後	2									兼1		
移動体通信ネットワー	3後	2									兼1		
電波システム工学	3後	2									兼1		
電波法	4前	2									兼1		
Webプログラミング及び	2後	3									兼2		
社会情報システムデザ	3後	2									兼1		
ヒューマンインターフェ	3前	2									兼1		
モバイルデバイスプロ	3後	3									兼1		
メディアデザイン論	2後	2									兼1		
メディアシステムデザ	3後	3									兼1		
メディアリテラシー	3前	2									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	太陽光エネルギー	3後	2			1							
	植物エネルギー生産学	3後	2				1						
	高速流体力学	3前	2			1							
	流体機械	3後	2			1							
	航空力学と飛行の原理	3後	2			1							
	宇宙エネルギー工学概論	3前	2									兼1	
	自動車工学	3前	2									兼1	
	移動体安全工学	3後	2										
	EV用電源と電力制御	3後	2										
	機械工学設計製図2	3後	2			1							
	材料加工学	3後	2			1							
	プラスチック材料	3前	2				1						
	安全・熱利用工学	3後	2			1	1						
	熱システム工学	3後	2									兼1	
	パワーエレクトロニクス	3前	2									兼1	
	電気機器工学	3後	2			1							
	計測工学	3後	2			1							
	集積化回路	3後	2									兼1	
	半導体素子工学	2後	2			1							
	電気電子材料	3前	2				1						
半導体プロセス	3後	2				1							
IoTセンシングシステム	3後	2			1								
ゼミ研究1	3前	1			11	5							
ゼミ研究2	3後	1			11	5							
卒業研究	4通	6			11	5							
関連専門科目	機械学習	3前	2									兼1	
	人工知能	3後	2									兼1	
	脳システム論	3前	2									兼1	
	人システム論	3後	2									兼1	
	マイクロコンピュータ	3後	3									兼1	
	デジタル制御理論	3前	2									兼1	
	医用生体工学	3前	2									兼1	
	電気電子計測	3後	2									兼1	
	ビッグデータによる品	3後	2									兼1	
	社会応用統計学及び	3前	3									兼1	
	自然言語処理理論	2後	2									兼1	
	データベース論及び演	3前	3									兼1	
	Webデザイン論及び演	3後	3									兼1	
	サーバシステムプロク	3前	3									兼1	
	インターネット論及び演	2後	3									兼1	
	情報セキュリティ	2後	2									兼1	
	信号処理論	2後	2									兼1	
	画像・音響信号処理論	3前	2									兼1	
	コンピュータグラフィッ	3後	3									兼1	
	メディアインタフェース	3後	2									兼1	
バーチャルリアリティ	3後	2									兼1		
通信工学1	3前	2									兼1		
通信工学2	3後	2									兼1		
移動体通信ネットワー	3後	2									兼1		
電波システム工学	3後	2									兼1		
電波法	4前	2									兼1		
Webプログラミング及び	2後	3									兼2		
社会情報システムデザ	3後	2									兼1		
ヒューマンインターフェ	3前	2									兼1		
モバイルデバイスプロ	3後	3									兼1		
メディアデザイン論	2後	2									兼1		
メディアシステムデザ	3後	3									兼1		
メディアリテラシー	3前	2									兼1		
論理回路2	1前	2									兼1		
高周波回路	2後	2									兼1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・ 教学上の理由により、「物理学基礎」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「物理学8」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「物理学実験B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「微分積分1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「微分積分1演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「微分積分2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「微分積分2演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「線形代数」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「線形代数演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「化学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「企業システムと経営管理」の配当年次を「1~4年」から「1年」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「経営組織」の開講学期を「後期」から「前期」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「マーケティング」の開講学期を「前期」から「後期」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「企業の国際化戦略」の配当年次を「1~4年」から「2~4年」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「地域に学ぶ経営」の配当年次を「2~4年」から「3~4年」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「事業ライフサイクル講座」の配当年次を「2~4年」から「3~4年」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「英語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「英語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「Communicative English 1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「Communicative English 5」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「Communicative English 8」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「自然環境と人間」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「地域情報化論」の開講学期を「前期」から「前後期」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「初年次導入教育」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教4」、「兼任・兼任14」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「論理学」の開講学期を「後期」から「前後期」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「キャリア開発1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「キャリア開発2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教学上の理由により、「自然言語処理論」の配当年次を「3年」から「2年」に変更。
- ・ 教学上の理由により、関連専門科目に「論理回路2」を追加。
- ・ 教学上の理由により、関連専門科目に「高周波回路」を追加。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	156 科目	0 科目	180 科目	24 科目	158 科目	0 科目	182 科目	
				[]	[2]	[]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	無し					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{180} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 (学生駐車場含む)			
	校舎敷地	66,800.52 m ²	0 m ²	0 m ²	66,800.52 m ²				
	運動場用地	22,929.00 m ²	0 m ²	0 m ²	22,929.00 m ²				
	小 計	89,729.52 m ²	0 m ²	0 m ²	89,729.52 m ²				
	そ の 他	15,911.36 m ²	0 m ²	0 m ²	15,911.36 m ²				
	合 計	105,640.88 m ²	0 m ²	0 m ²	105,640.88 m ²				
(2) 校舎	専 用	23456.56 m ² (23456.56 m ²)	共 用 (0 m ²)	共用する他の学校等の専用 (0 m ²)	計 23456.56 m ² (23456.56 m ²)	大学全体			
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教室等	28室 29室	16室 10室	21室 27室	3室 4室 (補助職員 5人) (補助職員 4人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学部 機械電気工学科			18 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
		工学部 情報応用工学科	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	648 654		0
	計	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	648 654	0		
		87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	(648) (654)	0		
		87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	(648) (654)	0		
		87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	87,541 [9,089] 86,078 [8,607]	1,624 [1,615] 16 [16]	2,819 2,516	(648) (654)	0		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
	1,157.24 m ²		167席	150,000冊					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,620.93 m ²		テニスコート3面 トレーニングルーム83.56 m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	7,250千円	7,250千円	7,250千円	
	共同研究費等	0千円	12,500千円	設備購入費	5,725千円	5,725千円	5,725千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		818千円	536千円	536千円	536千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	公立諏訪東京理科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<u>工学部</u>									
情報応用工学科	4	150	0	150	学士(工学)	1.21	平成30年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	
機械電気工学科	4	150	0	150	学士(工学)	1.06	平成30年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成26年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成26年度	同上	平成30年度より学生募集停止
コンピュータメディア工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成26年度	同上	平成30年度より学生募集停止
<u>経営情報学部</u>									
経営情報学科	4	-	-	-	学士(経営情報学)	-	平成14年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	平成30年度より学生募集停止
<u>システム工学部</u>									
電子システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	平成26年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	同上	平成26年度より学生募集停止
大学の名称	公立諏訪東京理科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<u>工学・マネジメント研究科</u>									
工学・マネジメント専攻 (修士課程)	2	15	0	30	修士(工学)、修士(経営学)又は修士(学術)	0.7	平成18年度	長野県茅野市 豊平字バチ山5000番地1	
(博士後期課程)	3	2	0	6	博士(工学)又は博士(学術)	0.5	平成24年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 機械電気工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【平成31年度】		【平成32年度】		【平成33年度】			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専任	教授	石井 隆生 (62)	<平成30年4月>	専任	教授	石井 隆生 (63)	<平成30年4月>				
		電気電子工学基礎1 物理学実験B 電磁気学 EV用電源と電力制御 機械電気工学通論※ インターンシップ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				電気電子工学基礎1 物理学実験B 電磁気学 EV用電源と電力制御 機械電気工学通論※ インターンシップ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 物理学B					
専任	教授	板橋 正章 (55)	<平成30年4月>	専任	教授	板橋 正章 (56)	<平成30年4月>				
		機械電気工学通論※ 機械工学基礎1 物理学実験B 材料力学 機械工学実験 計測工学 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				機械電気工学通論※ 機械工学基礎1 物理学実験B 材料力学 機械工学実験 計測工学 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育					
専任	教授	大島 政英 (51)	<平成30年4月>	専任	教授	大島 政英 (52)	<平成30年4月>				
		電子回路1演習 電子回路2 電気機器工学 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 海外インターンシップ 初年次導入教育				電子回路1演習 電子回路2 電気機器工学 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 海外インターンシップ 初年次導入教育					
専任	教授	北村 正司 (62)	<平成30年4月>	専任	教授	北村 正司 (63)	<平成30年4月>				
		電子回路1 送配電工学 電気機器設計及び製図 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				電子回路1 送配電工学 電気機器設計及び製図 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 キャリア開発1 キャリア開発2					
専任	教授	須川 修身 (68)	<平成30年4月>	専任	教授	須川 修身 (69)	<平成30年4月>				
		物理化学 機械電気工学実験 安全・熱利用工学 熱システム工学 移動体安全工学 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				物理化学 機械電気工学実験 安全・熱利用工学 熱システム工学 移動体安全工学 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 機械電気工学通論※					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名				担当授業科目名	
専任	教授	竹増 光家 (56) <平成30年4月>	竹増 光家 (57) <平成30年4月>				
		機械電気工学通論※ 材料力学演習 機械製作法 機械工学設計製図1 弾性力学 機械工学設計製図2 材料加工学 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 海外インターンシップ 初年次導入教育	機械電気工学通論※ 材料力学演習 機械製作法 機械工学設計製図1 弾性力学 機械工学設計製図2 材料加工学 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 海外インターンシップ 初年次導入教育				
専任	教授	橋元 伸晃 (56) <平成30年4月>	橋元 伸晃 (57) <平成30年4月>				
		半導体素子工学 IoTセンシングシステム 物理学実験B 技術英語※ 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	半導体素子工学 IoTセンシングシステム 物理学実験B 技術英語※ 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				
専任	教授	平田 陽一 (51) <平成30年4月>	平田 陽一 (52) <平成30年4月>				
		電気電子工学基礎2 論理回路 太陽光エネルギー 技術英語※ 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 工学特別講義	電気電子工学基礎2 論理回路 太陽光エネルギー 技術英語※ 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 工学特別講義				
専任	教授	星野 祐 (50) <平成30年4月>	星野 祐 (51) <平成30年4月>				
		機械電気工学通論※ プログラミング1 プログラミング2 機械工学実験 制御工学1 制御工学2 ロボット工学 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 地域連携課題演習 工学特別講義	機械電気工学通論※ プログラミング1 プログラミング2 機械工学実験 制御工学1 制御工学2 ロボット工学 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 地域連携課題演習 工学特別講義				
専任	教授	雷 忠 (48) <平成30年4月>	雷 忠 (49) <平成30年4月>				
		機械電気工学通論※ 機械工学基礎2 機械電気工学実験 機械工学実験 高速流体力学 流体機械 航空力学と飛行の原理 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 キャリア開発1 キャリア開発2 インターンシップ 物理学実験B 初年次導入教育	機械工学基礎2 機械電気工学実験 機械工学実験 高速流体力学 流体機械 航空力学と飛行の原理 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 キャリア開発1 キャリア開発2 インターンシップ 物理学実験B 初年次導入教育				
専任	教授	渡邊 康之 (46) <平成30年4月>	渡邊 康之 (47) <平成30年4月>				
		電気電子工学基礎2 電気回路1 電気回路2 環境エネルギー工学 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	電気電子工学基礎2 電気回路1 電気回路2 環境エネルギー工学 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	准教授	今村 友彦 (39) <平成30年4月>	今村 友彦 (40) <平成30年4月>				
		機械電気工学通論※ 物理学実験B 機械工学基礎2 熱・流体力学 工業熱力学 機械工学実験 安全・熱利用工学 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	機械電気工学通論※ 物理学実験B 機械工学基礎2 熱・流体力学 工業熱力学 機械工学実験 安全・熱利用工学 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				
専任	准教授	内海 重宜 (41) <平成30年4月>	内海 重宜 (42) <平成30年4月>				
		化学 機械電気工学通論※ 物理学実験B 機械材料 機械電気工学実験 プラスチック材料 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	化学 機械電気工学通論※ 物理学実験B 機械材料 機械電気工学実験 プラスチック材料 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				
専任	准教授	王谷 洋平 (40) <平成30年4月>	王谷 洋平 (41) <平成30年4月>				
		物理学B 電気電子工学基礎1 電気電子材料 半導体プロセス 機械電気工学実験 電気電子工学実験1 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 地域連携課題演習	電気電子工学基礎1 電気電子材料 半導体プロセス 機械電気工学実験 電気電子工学実験1 機械電気工学通論※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育 地域連携課題演習				
専任	准教授	来須 孝光 (39) <平成30年4月>	来須 孝光 (40) <平成30年4月>				
		電気回路1演習 植物エネルギー生産学 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	電気回路1演習 植物エネルギー生産学 電気電子工学実験2 電気電子工学実験3 機械電気工学通論※ 技術英語※ ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				
専任	准教授	國行 浩史 (53) <平成30年4月>	國行 浩史 (54) <平成30年4月>				
		機械電気工学通論※ 機械工学基礎1 プログラミング1 機械力学 機械力学演習 機械振動学 機械工学実験 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育	機械電気工学通論※ 機械工学基礎1 プログラミング1 機械力学 機械力学演習 機械振動学 機械工学実験 ゼミ研究1 ゼミ研究2 卒業研究 初年次導入教育				
専任	助教	上矢 恭子 (38) <平成30年4月>	上矢 恭子 (39) <平成30年4月>				
		物理学実験B 機械製図 機械工学実験	物理学実験B 機械製図 機械工学実験 初年次導入教育				
専任	助教	齋藤 隆 (55) <平成30年4月>	齋藤 隆 (56) <平成30年4月>				
		物理学A 電磁気学演習 物理学実験B 機械電気工学実験	物理学A 電磁気学演習 物理学実験B 機械電気工学実験 初年次導入教育				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	兼村 晋也 (55) <平成30年4月> 専業ライフサイクル講座									
			兼任	講師	吉川 誠 (67) <平成30年4月> 電波法									
			兼任	講師	尾関 寿美男 (65) <平成30年4月> 化学									
			兼任	講師	小出 二郎 (65) <平成30年4月> 機械設計 機械製図									

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・青野智子准教授について、後任を専任教員及び非常勤講師が授業を担当することとなったため、学生への指導体制に影響はありません。
- ・鳥居陽介講師について、後任を専任教員及び非常勤講師が授業を担当することとなったため、学生への指導体制に影響はありません。

- (注)
- ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
11	5	0	3	19	11	5	0	4	20	11	5	0	4	20
(11)	(5)	(0)	(4)	(20)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、**

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{19} = \boxed{105.26} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{20} = \boxed{5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	特になし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 機械電気工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・教育研究審議会
- ・ファカルティ・ディベロップメント実施委員会
- ・教学IR委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

公立諏訪東京理科大学において、今後以下の組織を中心に本学のFD活動等を行う。

【教育研究審議会】

委員は、学長、副学長、学部長、その他教育研究上の重要な組織の長、法人の役員又は職員以外の者で大学の教育研究に関し広くかつ高い識見を有するもの等で構成し、大学の教育研究に関する重要事項を審議するため、教育研究審議機関として、教育研究審議会を設置している。

【ファカルティ・ディベロップメント実施委員会】

委員は研究科長、学部長、共通・マネジメント教育センター長、学科主任、研究科幹事、学科教務幹事及び共通・マネジメント教育センター教務幹事で構成し、本学FD活動の実施、教育改善に向けての点検・評価活動を行う。

【教学IR委員会】

委員は情報関係を専門とする教員で構成され、ファカルティ・ディベロップメント実施委員会と連携して、教育改善に必要なデータの収集、分析のための審議等を行う。

c 委員会の審議事項等

【教育研究審議会】

○公立大学法人公立諏訪東京理科大学定款第25条より一部抜粋

- ・学則（大学の教育研究に関する部分に限る。）その他の教育研究に係る重要な規程の制定及び改廃に関する事項
- ・教育課程の編成に係る方針に関する事項
- ・学生の入学、卒業又は教育課程の修了その他学生の在籍に係る方針及び学位の授与に係る方針に関する事項 等

【ファカルティ・ディベロップメント実施委員会】

○公立諏訪東京理科大学教育内容等の改善のための研修実施規程第5条より一部抜粋

- ・教育課程の点検、評価に関すること
- ・授業内容及び教育方法の点検、評価に関すること
- ・学修成果の把握方法及び基準の点検、評価に関すること
- ・教育及び学生指導に関する研修会等に関すること 等

【教学IR委員会】

○公立諏訪東京理科大学教学IR委員会規程第3条より抜粋

- ・教育改善に必要なデータの収集・整理、並びに分析に関すること
- ・データの分析報告書に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- (1) シラバスの点検
- (2) 授業アンケートの実施(前期・後期各1回全教員対象(非常勤講師含む)に授業アンケートを実施)
- (3) 授業アンケート結果に基づくフィードバック
- (4) 高評価授業顕彰
- (5) 新入生アンケート及び卒業時アンケート

b 実施方法

- (1) シラバスの点検…シラバスチェックシートにより自己点検を行い、他の教員が点検を行くことで相互チェックする。
- (2) 授業アンケート…前期・後期各1回全教員対象(非常勤講師含む)に実施。
- (3) 授業アンケート結果に基づくフィードバック…授業アンケート結果に教員がコメントを付して学生にフィードバックする。
- (4) 高評価授業顕彰…授業アンケート結果をもとに高い評価を受けた教員を顕彰。
- (5) 新入生アンケート及び卒業時アンケート…入学時及び卒業時において、調査を実施。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- (1) シラバスの点検・・・平成30年度分について全教員分について平成30年2月～3月に実施。全教員対象。
- (2) 授業アンケートの実施・・・前期・後期各1回全教員対象(非常勤講師含む)に授業アンケートを実施する。全教員対象。
- (3) 授業アンケート結果に基づくフィードバック・・・授業アンケート終了後に年2回実施する。全教員対象。
- (4) 高評価授業顕彰・・・授業アンケート終了後に年2回実施する。
- (5) 新入生アンケート及び卒業時アンケート・・・新入生について4月の初旬のガイダンス中、卒業時は1月～3月頃に実施する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

以下のとおり今後改善活動を行う。

- ・授業アンケート結果から高い評価を受けた教員を顕彰する制度により教員のFDに対する意識を高める。
- ・新入生アンケート及び卒業時アンケートは、本学教育の質保証のための学生調査であり、学生の様々な情報を収集して数値化・可視化し教育課程や学修支援のPDCAサイクルを通じた点検・評価・改善を行う。ディプロマポリシーの下、教育課程を通じて学生に求められる能力がいかに育成されたかを検証する。調査データの整理、分析はIR委員会と連携して実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年 前期後半、後期後半頃に実施

b 教員や学生への公開状況, 方法等

- ・アンケートの分析結果をホームページで公表予定
- ・アンケートの結果を個々の担当教員へフィードバックするとともに、FD研修会の研修材料として情報共有する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

公立諏訪東京理科大学は、工学並びにそれらの応用を教育研究するとともに、工学と経営学の融合教育を行い、人間性及び創造性豊かで主体性の確立した人材を育成し、地域の知の拠点として文化の進展と産業の興隆に寄与することにより、地域と我が国の将来の発展に貢献することを目的とする。工学部機械電気工学科では、ロボットや、自然環境に配慮した交通手段（システム）であるスマートモビリティの研究開発が進んでいること、また、車や航空機に代表されるように、電動化する技術が進展し、最近、実社会での応用が拡大しつつあることから、従来の機械系と電気系、それぞれの分野だけでなく、両分野を融合した領域の知識と技能の修得を目的とする。さらに、上述したロボットや車では、IoTなどの情報通信技術（ICT）や人工知能を使って制御しドライブする自動運転技術等が注目され、様々な産業や交通運輸、家電、医療などの分野も含め、今後広く発展することが期待されることから、ハード面だけでなく、情報や通信に関連したソフト面の知識と技能の修得も目的としている。今年度は公立諏訪東京理科大学の開学初年度であり、これら目的を達成するために教育活動等を着実に推進していく所存である。

平成30年度は入学試験において、定員150名に対して1092名の志願者があり、アドミッションポリシーをもとに適切に選抜を行い、一定の学力を持つ160名の入学者を確保することができた。これは、前身である諏訪東京理科大学における教育研究成果や人材輩出実績に加えて、公立化により一層地域への貢献を図りたいとする本学の方針が広く理解された結果であると考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年7月頃 情報部分のみ公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・本学前身の諏訪東京理科大学において、平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）より評価を受け、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定されたため、次回は平成36年度に認証評価受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。